



菜の花会

立町地区社会福祉協議会 平成28年7月4日



サロン内容

立町地区では、菜の花会というサロンを開催しています。月1回10時から11時半まで、季節の行事は年に2、3回企画されているそうです。このサロンは平成15年から続いており、今日で158回目の開催となりました。

今日は始めにサロン参加者に誕生日の方がいらっしゃり、みんなで誕生日の歌を歌いお祝いしました。その後におしゃべりしながら七夕飾りを作り、竹を華やかにしました。それが終わると、スタッフ手作りのきゅうりの漬物や梅干し、温麺などが振る舞われ大好評でした。温麺は、七夕の天の川に見立てて食べるそうです。それを頂いた後に、座ったままでも出来る手を使った認知症予防の体操や、パタカラ体操という口腔体操をしました。私もやってみると意外に難しく、何度も間違えてしまいました。体操の後は歌の歌詞が配布され、今日は「荒城の月」を選び、元気な90歳の方が先導して歌いました。ビブラートがきいており、きれいなハーモニーを奏でていました。全体を通して、2名のスタッフが主に運営・企画されていましたが、参加者の方も積極的にお手伝いされており、地域住民みんなで作り上げられているサロンだと感じました。



何作ろうかな～？

参加してみて

菜の花会は、スタッフが中心となって季節の行事に応じて、サロンを企画し活発に行われている様子でした。参加者も意欲的に活動しており、サロン全体が明るく賑やかだったのが印象的でした。参加した方からは「家に一人にいるよりもここに来て、お話した方が楽しい。」という声が多く聞かれました。

自分の地域に安心できる場所があることは、「誰もが安心して暮らす事が出来る福祉のまちづくり」に繋がると感じました。

サロンに来て近所の方とお話をしたり、行事を楽しむことによって一月の楽しみが増え、日々の生きがいにもなっていると思いました。

このようなサロンが交流の場として、さらに地域住民に知ってもらい、地域活動に興味を持ってくださる方が増えれば良いと思います。



みなさん元気に歌われています♪

取材・編集
東北福祉大学
末永夏美